

第115回 令和7年10月31日（金）

夢をかなえることについて。

年を取ると現実が見えてくることがあります。若いときは一見無謀と思えるようなことでも挑戦するのは良いことだと思いますし、若さの特権だと感じます。

夢を持ち、夢を追うために目標を立て続けることは大切です。でも夢は必ず叶うものではないということを多くの人は知っています。

どんなに努力をしても夢を叶えることはできなかった人はたくさんいます。イチローさんだってワールドチャンピオンのリングを獲得することはできませんでしたし、ボクシングの世界チャンピオンやオリンピックの金メダリストになることができる人は限られています。

それでは夢を持ってもしかたないのか、努力は報われるというのは絵空事なのでしょうか。

夢が叶うの、「叶う」という字は口が十個と書きます。これは私なりの解釈なのですが、「何をもって夢が叶った」とするのかは自分で考えるべきだからではないかと思います。

例えばイチローさんがもう一度同じ人生を生きられるとしたら、やっぱりイチローさんとしてワールドチャンピオンを目指すのではないのでしょうか。夢が叶ったかどうか、それは解釈がたくさんあります。そしてそれを決めるのは自分です。「夢を目指して自分はこれだけ成長することができた。だから今の自分がある」と思えるのなら、それは十分夢が叶ったと言えると思います。

人生は予想がつかないから面白い。夢を追いかけていた自分がいつの間にかまったく思いもしなかったステージで活躍することもあります。それは夢を追って努力し続けたからこそ見ることができた景色かもしれません。

私も実現できなかった夢はあります。逆に思い通りいかなかったことのほうが多いかもしれません。それでも後悔することはありませんし、いくつになっても夢は見続けたいと思っています。

自己実現は自分が評価をするものです。他人からの称賛を求めようとすると承認欲求の沼にはまってしまう。不正に手を染めたり、どこまでいっても満足できずに他人を蹴落としたりする行為に走ってしまうようになります。

「ものさし」は他者との比較ではなく自分の中に持ってください。最後に夢が叶ったかどうか、判断するのは自分です。